

2022年3月16日 全8頁

## Indicators Update

# 2022年2月貿易統計

貿易赤字が継続、ウクライナ侵攻による輸入への影響も懸念材料

経済調査部 エコノミスト 岸川 和馬

### [要約]

- 2022年2月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+19.1%と12カ月連続で増加した。輸入金額は、新型コロナウイルスのワクチン調達やエネルギー価格の高騰などを背景に同+34.0%と大幅増が続いている。これを受け、貿易収支は▲6,683億円と7カ月連続の赤字となった。季節調整値で見ると▲1兆314億円と、コロナショックで輸出が急減した2020年4月並みの赤字幅となった。
- 2月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比+0.7%と3カ月ぶりに増加した。米国向け（同+2.5%）やアジア向け（同+2.4%）が増加した一方、EU向け（同▲9.4%）は減少に転じた。
- 先行きの輸出は足踏みするとみている。欧州の一部地域では新規感染者数のリバウンドによって人流が減少しており、アジアでも中国や韓国などで感染が急拡大している。感染拡大が世界経済の回復を阻害し、日本からの輸出は伸びにくくなるだろう。他方、ロシアによるウクライナ侵攻が日本の輸出に与える直接的な影響は大きくないとみている。むしろ、輸入面で日本国内に影響が及ぶ経路を注視する必要がある。ロシアへの依存度が高い品目などの輸入が減少することで、国内の基幹産業のサプライチェーンに悪影響が及ぶ可能性がある。

## 【貿易金額】ワクチン輸入やエネルギー価格上昇により貿易赤字（季節調整値）が拡大

2022年2月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+19.1%と12カ月連続で増加した（**図表1**）。季節調整値では前月比▲0.5%と、小幅ながら5カ月ぶりに減少した。輸出金額はこのところ価格要因によって押し上げられてきたが、輸出価格の上昇ペースは均して見れば鈍化しており、輸出数量も半導体不足などを背景に足踏みしている（**図表2左**）。

数量ベースで見た輸出がさえない一方、輸入金額は前年比+34.0%と大幅増が続いている。品目別では、原油及び粗油などのエネルギー品目に加え、医薬品が押し上げた。医薬品は1月から輸入数量が高水準にあり、新型コロナウイルスのワクチン調達の動きが表れているとみられる。輸入金額を季節調整値で見ると、前月比+2.7%と2カ月連続で増加した。輸入金額の変動を数量・価格に要因分解すると、輸入数量（大和総研による季節調整値）は同▲3.0%、輸入価格（同）は同+5.8%となった。均して見ると、輸入数量は緩やかな増加にとどまる一方、エネルギー価格を中心とした輸入価格の上昇が輸入金額を押し上げる構図が続いている（**図表2右**）。

これを受け、貿易収支は▲6,683億円と7カ月連続の赤字となった。季節調整値で見ると▲1兆314億円と、コロナショックで輸出が急減した2020年4月並みの赤字幅となった。

図表1：貿易統計の概況

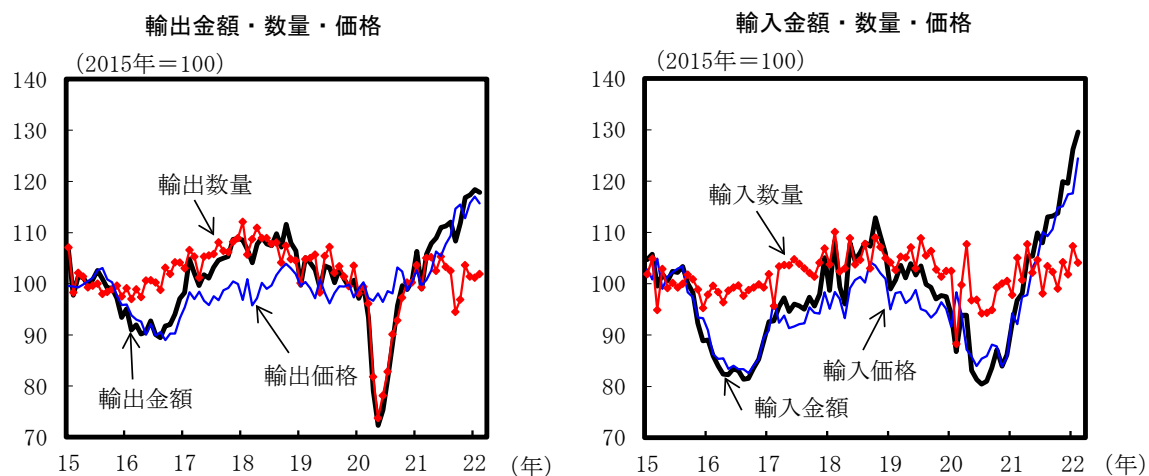
		2021年								2022年	
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
原系列 前年比 %	輸出金額	48.6	37.0	26.2	13.0	9.4	20.5	17.5	9.6	19.1	
	コンセンサス									20.6	
	DIRエコノミスト予想									22.2	
	輸入金額	32.7	28.1	44.7	38.4	26.8	43.8	41.2	38.7	34.0	
	輸出数量	37.2	25.2	13.7	3.2	▲2.6	4.7	2.0	▲4.0	2.7	
	価格	8.3	9.5	11.0	9.5	12.3	15.1	15.2	14.1	16.0	
	輸入数量	8.2	2.0	14.5	7.5	▲3.0	6.1	1.0	4.8	▲0.9	
価格	22.7	25.7	26.4	28.8	30.8	35.6	39.8	32.3	35.2		
	貿易収支(億円)	3,694	4,345	▲6,534	▲6,369	▲750	▲9,569	▲5,889	▲21,935	▲6,683	
季節 調整値 前月比 %	輸出金額	1.9	0.3	0.7	▲3.3	3.2	4.4	0.5	0.9	▲0.5	
	数量	2.7	▲1.9	▲0.8	▲7.8	2.5	6.9	▲2.1	▲0.2	0.7	
	価格	▲0.8	2.2	1.5	4.9	0.7	▲2.3	2.6	1.1	▲1.2	
	輸入金額	4.3	▲1.8	4.6	0.2	0.5	5.4	▲0.3	5.5	2.7	
	数量	2.4	▲6.3	5.4	▲1.1	▲3.2	5.2	▲2.3	5.4	▲3.0	
	価格	1.8	4.8	▲0.7	1.3	3.8	0.2	2.0	0.1	5.8	
		貿易収支(億円)	▲1,821	▲375	▲3,142	▲5,631	▲3,765	▲4,675	▲4,123	▲7,769	▲10,314
	税関長公示レート	109.50	110.55	109.89	109.87	111.42	113.95	113.95	114.82	114.84	

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

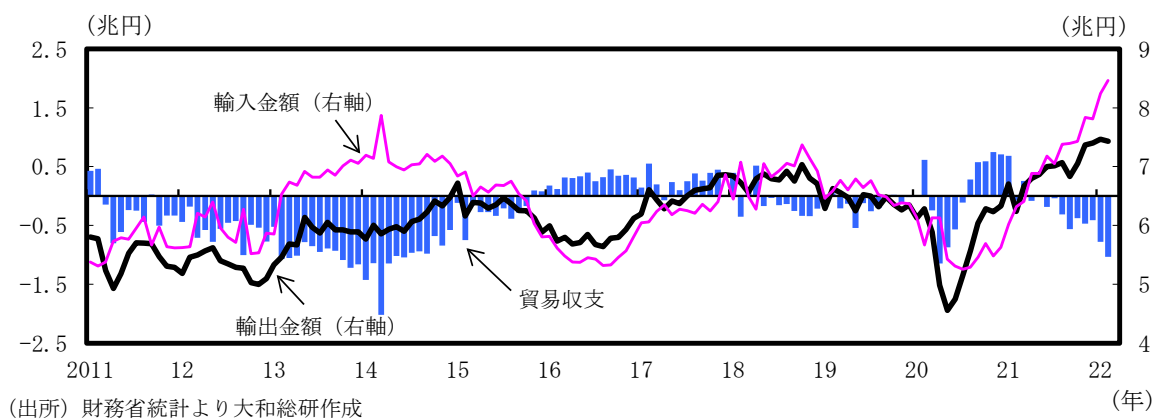
(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

図表 2 : 輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格 (季節調整値)



図表 3 : 輸出、輸入、貿易収支 (季節調整値)



## 【輸出数量】自動車輸出が伸び悩み全体は小幅増にとどまる

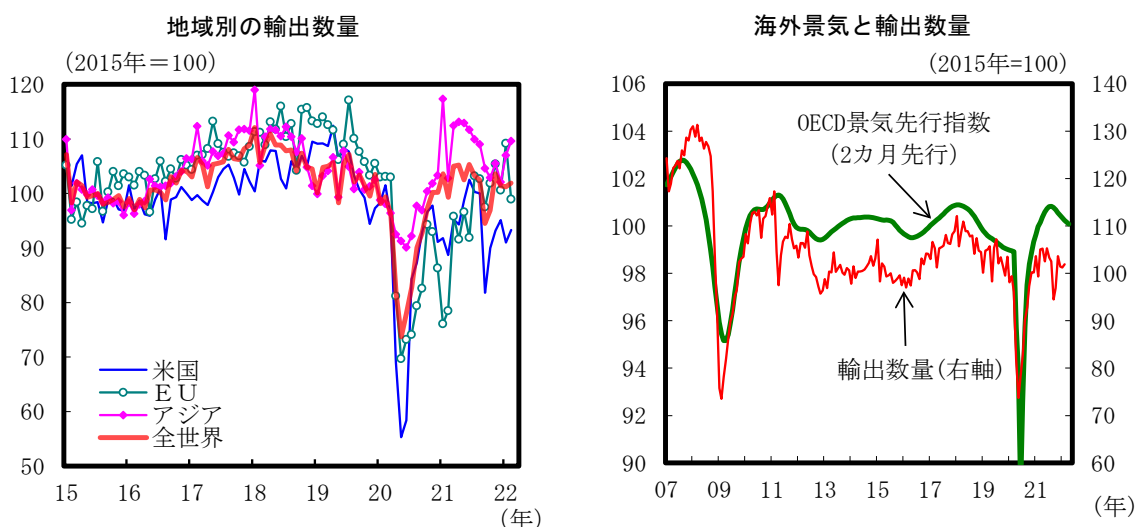
2月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比+0.7%と小幅ながら3カ月ぶりに増加した。米国向け（同+2.5%）やアジア向け（同+2.4%）が増加した一方、EU向け（同▲9.4%）は減少に転じた。

米国向けは2カ月ぶりに増加した。電算機類（含周辺機器）や同部分品、原動機などが全体を押し上げた。これらの品目はこのところ低調に推移していたため、米国経済の正常化に沿って持ち直し始めたとみられる。他方、自動車や同部分品は小幅に減少した。カナダでのストライキによって米国との国境の橋が2月上旬から中旬にかけて封鎖され、自動車メーカーが米国やカナダの工場の稼働を停止したことで、日本からの自動車部品の輸出にブレーキがかかったとみられる。

EU向けは2カ月ぶりに減少した。半導体不足を背景に、自動車輸出が全体を大きく押し下げた格好が続いている。他方、鉄鋼や非鉄金属、原動機といった主要な中間財は増加が続いており、半導体等製造装置も全体を押し上げた。欧州域内での堅調な鉱工業生産に対応し、中間財や資本財への需要が喚起されているとみられる。

アジア向けは2カ月連続で増加した。前月の増加の反動によって半導体等製造装置の輸出が減少したものの、中国以外のアジア向けの自動車輸出が全体を押し上げた。中国向けでは自動車輸出が伸び悩んだ一方、プラスチックや鉄鋼、原動機、集積回路（IC）といった中間財が下支えた。ただし、IC以外の品目は水準で見れば依然として低調だ。中国国内での不動産開発に対する規制強化を背景に建設活動が停滞していることから、鉄鋼などの需要が抑制されているとみられる。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



（注1）OECD景気先行指数（CLI）はOECD諸国とBRICsなど非加盟6カ国を集計したベース。

（注2）輸出数量の季節調整は大和総研。

（出所）財務省、OECD統計より大和総研作成

## 【見通し】ウクライナ侵攻による輸出への直接的な影響は軽微も、感染拡大がネックに

先行きの輸出数量は足踏みするとみている。欧米全体で見れば感染拡大はピークアウトしつつあるが、英国やドイツ、イタリアなどでは新規感染者数のリバウンドによって人流が減少しており、アジアでも中国や韓国などで感染が急拡大している。感染拡大防止策や景気回復の鈍化により、日本からの輸出は伸びにくくなるだろう。またトヨタ自動車は3月15日に、半導体不足を背景として3月の国内生産計画を再び下方修正した。約1万4,000台の生産に影響が及ぶとみられるが、報道によると4月以降も生産計画からの下振れが見込まれており、4月は従来計画比約20%、5月は同約10%、6月は同約5%の減産予定が仕入れ先に伝達されたという<sup>1</sup>。米商務省による半導体メーカー等への聞き取り調査<sup>2</sup>の結果などを踏まえれば、当面は半導体不足によって自動車の挽回生産・輸出が発現しづらい状況が続くだろう。

他方、足元で緊迫した状況が続いているウクライナ侵攻について、日本の輸出への直接的な影響は大きくないとみている。2021年の日本の輸出に占めるロシア向けの割合は1.0%、ウクライナ向けは0.1%といずれも小さい。品目別に見ても、輸出金額の大きい品目は仕向け先を変更しやすい自動車関連財が多く、日本の輸出全体への影響は限定的となろう。むしろ、輸入面で日本国内に影響が及ぶ経路を注視する必要がある。エネルギー品目や鉄鋼素材、希土類といったロシアへの依存度が高い品目や、自動車生産に用いるパラジウムといった重要な品目の輸入が減少することで、国内の基幹産業のサプライチェーンに悪影響が及ぶ可能性がある。

輸出の先行きを地域別に見ると、米国向けは緩やかな増加基調が継続するとみている。ミシガン大消費者信頼感指数に見る消費者マインドは低調だが、1月の小売売上高は前月比+3.8%と、個人消費の堅調さが見て取れる。これまでに積み上げられた過剰貯蓄を原資に、個人消費の増加が続くことが日本の財輸出を呼び込むことも期待されよう。他方、FRBは3月のFOMCで利上げを行うとみられている。個人消費の鈍化のみならず、設備投資の抑制によって日本からの資本財輸出が減少する可能性には注意が必要だ。

欧州向けは横ばい圏で推移するとみている。ドイツでは新規感染者数が高水準にあるものの、鉱工業生産指数は堅調に推移しており、引き続き日本からの中間財輸出が全体を下支えするだろう。ただし、感染拡大に加え、2月のユーロ圏の消費者物価指数（速報値）が前年比+5.8%と高インフレが継続していることから、消費マインドの悪化によって最終消費財の輸出が減少する可能性がある。

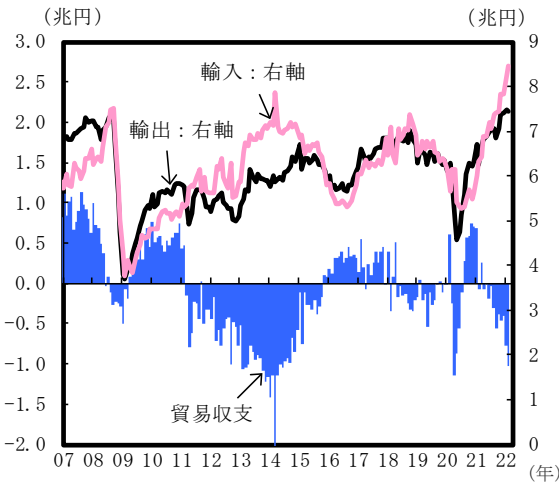
中国向けは緩やかな減少基調を辿るとみている。秋の共産党大会に向けて景気が加速するとみられるが、全人代などの重要イベントがあった3月までは、ゼロコロナ政策によって個人消費が抑制されよう。感染拡大によって自動車工場の集積する吉林省長春市などが都市封鎖（ロックダウン）されたことで、自動車部品の輸出減に繋がることも懸念される。またウクライナ侵攻や感染拡大によって世界経済の停滞が懸念される中、「世界の工場」である中国国内での生産が低迷し、日本の対中輸出の柱である資本財や中間財の輸出も減少する可能性がある。

<sup>1</sup> Bloomberg 「[トヨタ、4月国内生産を計画比約2割減へー取引先の負担軽減で](#)」（2022年3月11日）

<sup>2</sup> 米商務省 「[Results from Semiconductor Supply Chain Request for Information](#)」（2022年1月25日）

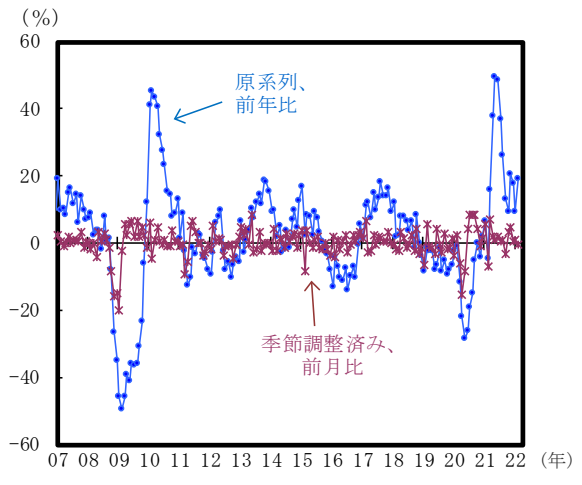
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

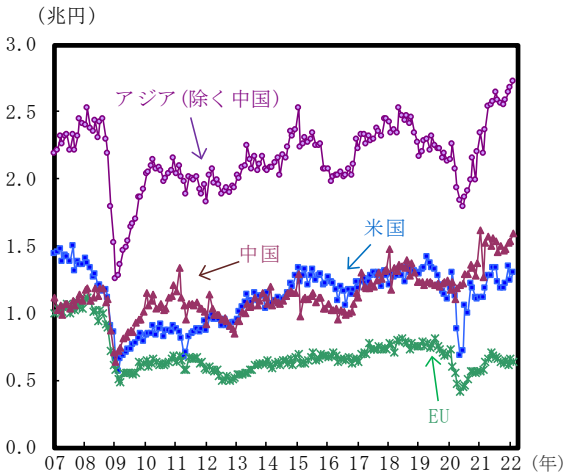


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

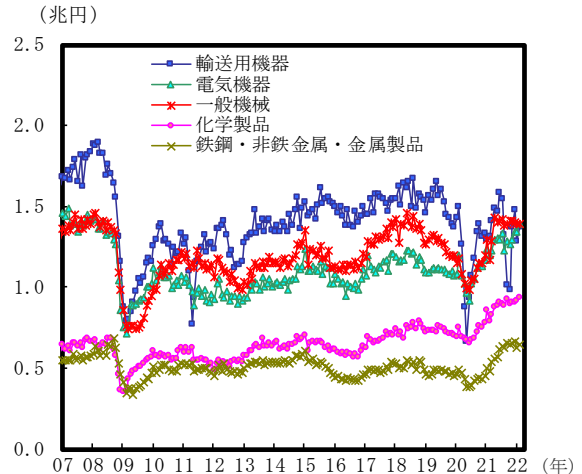


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

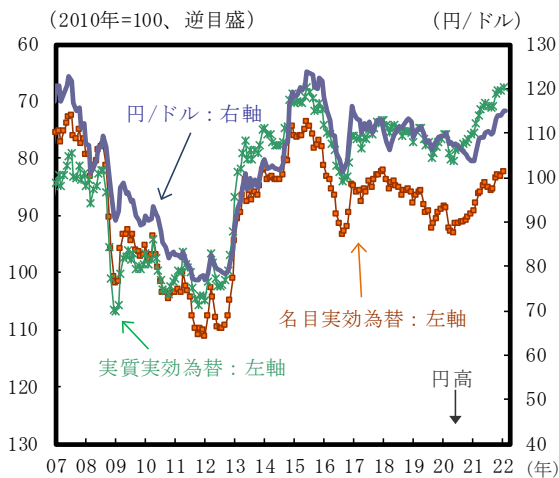


(注) 季節調整は大和総研。  
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

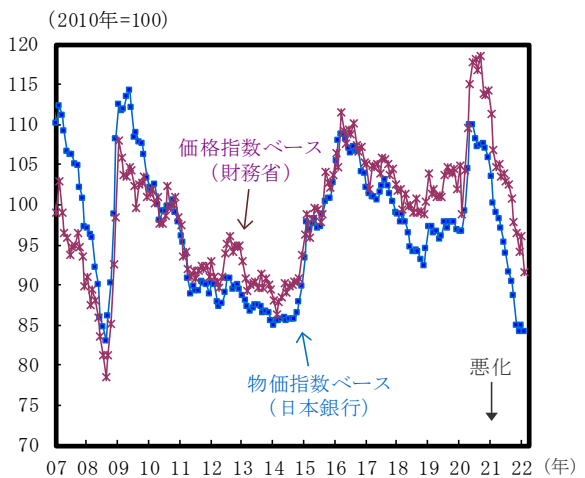


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。  
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2021/09	2021/10	2021/11	2021/12	2022/01	2022/02		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	13.0	9.4	20.5	17.5	9.6	19.1	100.0	19.1
食料品	22.6	17.2	18.5	21.3	2.2	18.3	1.0	0.2
原料品	35.8	18.5	26.1	12.1	▲0.6	13.4	1.6	0.2
鉱物性燃料	167.8	210.0	166.4	84.2	111.2	139.3	2.0	1.4
化学製品	27.3	18.0	20.2	15.6	5.8	19.8	12.7	2.5
原料別製品	42.8	37.2	44.4	35.5	20.0	31.1	12.2	3.4
鉄鋼	94.4	80.1	87.7	75.1	47.0	45.5	4.8	1.8
非鉄金属	14.5	20.5	27.7	26.1	18.0	32.5	2.5	0.7
金属製品	23.1	13.0	11.2	6.0	▲8.3	13.7	1.5	0.2
一般機械	23.7	22.9	22.6	17.6	7.1	19.7	19.9	3.9
電気機器	14.4	10.5	14.3	15.0	8.4	16.0	17.6	2.9
半導体等電子部品	13.7	15.1	20.8	25.9	14.0	21.4	5.7	1.2
I C	8.7	13.3	20.3	26.9	15.0	23.4	3.9	0.9
映像機器	5.3	▲20.4	▲10.5	▲8.4	91.7			
映像記録・再生機器	6.2	▲23.0	▲11.5	▲8.1	8.9	1.3	0.3	0.0
音響・映像機器の部分品	0.6	20.6	7.2	2.9	▲9.3	8.7	0.2	0.0
電気回路等の機器	20.4	10.9	10.0	10.1	1.4	11.8	2.3	0.3
輸送用機器	▲24.5	▲28.7	4.3	10.2	▲0.5	4.4	19.1	0.9
自動車	▲40.3	▲36.7	4.1	17.6	▲1.0	8.3	13.0	1.2
自動車の部分品	9.9	▲7.0	0.7	▲0.3	3.6	3.2	4.1	0.2
その他	13.5	17.8	29.5	16.6	18.2	27.8	13.8	3.6
科学光学機器	15.8	14.6	26.8	14.1	▲2.4	6.2	2.5	0.2

米国向け輸出金額 内訳								
	2021/09	2021/10	2021/11	2021/12	2022/01	2022/02		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲3.3	0.3	10.0	22.1	11.5	16.0	100.0	16.0
食料品	23.2	58.1	18.9	48.8	19.7	27.1	1.0	0.2
原料品	18.0	42.5	6.7	21.9	▲16.2	▲39.3	0.6	▲0.4
鉱物性燃料	2673.2	693.6	739.5	100.4	559.9	2709.1	1.0	1.1
化学製品	24.1	28.6	26.3	13.5	25.4	12.0	8.3	1.0
原料別製品	21.9	40.0	28.1	36.0	8.8	18.8	6.5	1.2
鉄鋼	59.7	104.8	70.6	121.6	38.1	19.1	1.3	0.2
非鉄金属	35.8	83.8	52.5	74.2	45.6	47.9	0.9	0.3
金属製品	14.1	11.8	0.2	▲1.2	▲24.8	6.6	1.5	0.1
一般機械	40.7	29.7	20.4	35.0	29.2	27.1	25.4	6.3
電気機器	5.7	17.0	21.8	26.8	12.3	10.9	14.6	1.7
半導体等電子部品	27.1	26.2	21.9	24.9	17.5	31.2	1.7	0.5
I C	10.4	12.6	22.3	12.9	14.9	42.5	0.8	0.3
映像機器	▲5.8	▲15.6	▲12.2	0.6	19.1			
映像記録・再生機器	▲6.0	▲24.6	▲14.3	▲5.8	16.1	▲0.7	0.6	▲0.0
音響・映像機器の部分品	78.7	41.8	74.2	10.1	▲32.2	8.3	0.2	0.0
電気回路等の機器	▲0.9	13.2	13.1	13.4	▲2.8	▲7.0	1.3	▲0.1
輸送用機器	▲38.4	▲39.1	▲8.7	10.4	▲2.3	10.1	31.9	3.4
自動車	▲47.0	▲46.4	▲11.5	11.9	▲0.2	16.2	25.5	4.1
自動車の部分品	13.2	0.8	13.4	12.1	▲1.2	▲1.4	5.2	▲0.1
その他	▲6.1	22.9	24.7	25.7	9.9	14.0	10.7	1.5
科学光学機器	19.5	29.3	17.8	35.9	19.3	16.1	2.5	0.4

EU向け輸出金額 内訳								
	2021/09	2021/10	2021/11	2021/12	2022/01	2022/02		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	12.1	12.1	16.4	9.7	16.1	8.8	100.0	8.8
食料品	55.7	50.2	47.7	41.8	49.9	4.8	0.6	0.0
原料品	44.4	10.6	46.9	11.7	31.5	28.6	1.1	0.3
鉱物性燃料	131.0	957.7	55.0	13.3	0.2	32.8	0.1	0.0
化学製品	38.0	27.6	19.2	9.0	11.5	6.1	12.5	0.8
原料別製品	60.9	45.9	42.0	24.5	43.9	39.6	8.3	2.6
鉄鋼	140.9	192.2	140.1	162.1	203.8	176.9	2.4	1.7
非鉄金属	206.4	13.0	46.1	18.6	93.2	9.0	0.8	0.1
金属製品	29.8	17.5	19.8	▲11.5	▲15.5	3.8	1.5	0.1
一般機械	30.8	25.8	18.0	9.2	16.6	21.7	25.1	4.9
電気機器	18.4	16.2	5.8	▲5.6	11.8	2.8	18.5	0.5
半導体等電子部品	26.9	7.1	13.4	15.4	15.0	14.1	2.6	0.4
I C	13.8	▲0.6	9.0	14.4	10.1	31.4	1.2	0.3
映像機器	17.0	▲24.7	▲11.8	▲33.9	11.5			
映像記録・再生機器	19.1	▲21.1	▲11.4	▲33.3	1.5	9.3	0.7	0.1
音響・映像機器の部分品	▲4.8	▲11.4	55.7	11.2	7.4	▲10.2	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	39.3	43.2	24.8	3.3	16.7	23.2	1.9	0.4
輸送用機器	▲36.8	▲26.0	3.0	12.7	▲6.5	▲17.5	17.9	▲4.1
自動車	▲58.5	▲34.2	17.9	50.0	▲12.4	▲24.0	8.8	▲3.0
自動車の部分品	▲5.8	▲21.5	▲36.4	▲39.4	▲9.4	▲13.1	5.6	▲0.9
その他	32.2	20.0	35.3	19.5	49.8	28.5	15.9	3.8
科学光学機器	28.6	35.7	40.3	9.2	40.3	25.7	4.5	1.0

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2021/09	2021/10	2021/11	2021/12	2022/01	2022/02		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	21.3	15.0	24.7	16.6	6.3	25.1	100.0	25.1
食料品	22.2	10.9	18.7	14.9	▲4.6	17.7	1.2	0.2
原料品	40.0	17.8	27.5	10.9	▲0.6	19.6	2.4	0.5
鉱物性燃料	79.7	125.3	128.7	27.8	49.9	89.8	2.2	1.3
化学製品	26.8	15.5	19.8	14.3	0.6	23.7	16.1	3.9
原料別製品	42.1	35.6	45.6	35.9	17.5	34.8	14.9	4.8
鉄鋼	91.5	76.4	92.2	72.2	39.2	45.8	6.1	2.4
非鉄金属	13.1	20.5	26.0	24.8	15.8	37.8	3.9	1.3
金属製品	26.5	17.7	14.5	11.2	▲3.4	17.6	1.6	0.3
一般機械	16.8	19.9	23.6	12.9	▲4.7	18.0	18.6	3.6
電気機器	15.5	9.4	14.4	16.0	7.2	19.8	21.2	4.4
半導体等電子部品	12.1	14.8	20.7	26.0	13.7	21.2	8.7	1.9
IC	8.3	13.5	20.3	27.6	15.1	22.6	6.2	1.4
映像機器	16.1	▲16.1	▲1.3	4.3	224.1			
映像記録・再生機器	21.9	▲17.8	▲2.4	10.0	8.1	1.2	0.2	0.0
音響・映像機器の部分品	▲13.5	25.2	▲13.1	▲7.8	▲12.5	0.6	0.2	0.0
電気回路等の機器	20.3	9.6	9.1	10.6	1.0	13.4	3.1	0.5
輸送用機器	▲21.2	▲23.2	8.2	5.3	1.4	17.7	7.9	1.5
自動車	▲47.4	▲35.4	3.4	17.3	▲5.0	13.7	4.1	0.6
自動車の部分品	16.6	▲4.5	3.5	6.3	9.7	11.7	3.1	0.4
その他	30.5	16.4	33.4	15.8	14.6	34.9	15.6	5.0
科学光学機器	13.1	6.7	25.6	10.8	▲15.9	▲0.6	2.5	▲0.0

中国向け輸出金額 内訳								
	2021/09	2021/10	2021/11	2021/12	2022/01	2022/02		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	10.3	9.6	16.0	10.8	▲5.4	25.8	100.0	25.8
食料品	44.5	40.1	25.2	16.2	3.6	42.5	0.8	0.3
原料品	71.3	48.9	42.3	4.3	7.1	67.9	2.5	1.3
鉱物性燃料	▲1.8	▲1.8	39.2	25.4	▲51.4	▲25.1	0.3	▲0.1
化学製品	24.1	18.6	22.1	15.1	▲9.5	40.9	18.4	6.7
原料別製品	10.6	26.0	26.8	23.1	▲3.0	38.9	13.0	4.6
鉄鋼	23.6	32.4	47.3	48.8	3.8	58.7	4.0	1.9
非鉄金属	▲5.6	41.6	25.2	22.9	▲2.6	30.6	4.0	1.2
金属製品	22.1	16.7	14.0	10.0	▲5.6	16.7	1.7	0.3
一般機械	10.1	12.9	22.7	5.6	▲11.1	20.2	23.1	4.9
電気機器	17.6	13.0	14.3	17.0	7.0	27.4	21.5	5.8
半導体等電子部品	16.8	27.0	25.3	28.7	18.0	24.4	6.7	1.6
IC	20.3	30.6	31.4	32.3	24.1	27.0	4.6	1.2
映像機器	11.8	▲31.6	▲9.4	▲4.8	269.7			
映像記録・再生機器	19.5	▲31.6	▲10.6	2.3	▲0.9	▲16.3	0.3	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲26.3	28.5	▲38.8	▲22.3	▲29.6	▲6.6	0.3	▲0.0
電気回路等の機器	13.8	4.0	5.0	13.0	▲1.0	24.5	3.5	0.9
輸送用機器	▲43.7	▲33.8	▲8.9	14.9	▲3.5	6.6	9.1	0.7
自動車	▲71.9	▲46.8	▲8.3	30.6	▲9.0	7.8	5.2	0.5
自動車の部分品	▲3.3	▲15.1	▲10.6	▲4.6	6.8	3.1	3.6	0.1
その他	20.1	2.5	8.0	▲6.0	▲12.8	13.3	11.2	1.6
科学光学機器	1.3	5.6	14.3	0.0	▲25.5	▲1.1	3.2	▲0.0

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成